

北鎌倉台峯トラスト 北鎌倉の景観を後世に伝える基金

会報

# 北鎌倉だより

2003年10月 No9



鎌倉・台峯トラスト特別講演「朗読&チャリティートーク」(2003.6.29)

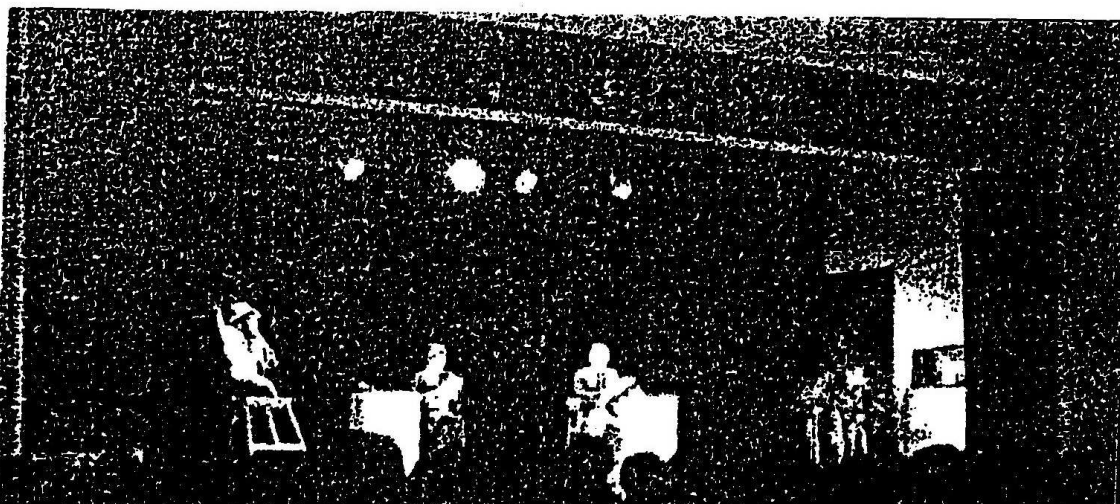
## 目次

- 北鎌倉・台峯トラスト特別講演「朗読&チャリティートーク」
- 活動・会計報告(2003年3月から9月)
- 北鎌倉文学散歩 松嶺院の墓地にて
- 談話室 「うてな」の杜はハテナ(?)の「もり」
- トラストの集いご案内など
- 伝言板

北鎌倉・台峯トラスト特別講演「朗読&チャリティートーク」

— 2003年小津安二郎生誕100年記念トークイベント —

## 「小津安二郎と美しい日本語、そして北鎌倉」



小津安二郎監督生誕100年を迎えた2003年、6月29日、監督が、かつて暮らし、そして今、眠っているここ北鎌倉。NPO「法人北鎌倉の景観を後世に伝える基金」は、北鎌倉・台峯に棲息する様々な命と共に生き、その自然環境を後世に伝え遺す活動のひとつとして、北鎌倉女子学園講堂において、北鎌倉・台峯トラスト特別講演朗読&チャリティートークを行いました。

【写真】第一部 シナリオ朗読

### 〔プログラム〕

第1部 シナリオ朗読 松竹作品「晩春」(1949年制)

脚本 野田高悟 小津安二郎

(監督 小津安二郎 出演 原節子 笠智衆 ほか)

朗読 : 宗方勝巳 友里千賀子

第2部 鼎(てい)談 「美しい日本語と日本」

山内静夫 鎌倉ケーブルコミュニケーションズ会長 川又 昂 撮影監督

なだいなだ 精神科医 作家(当基金理事長)



【写真】挨拶するなだ理事長

【写真】鼎談

当基金 なだいなだ理事長に続き、生前の小津監督とも親しく、また作家里見弴氏のご子息でもある（株）鎌倉ケーブルコミュニケーションズ山内静夫取締役会長のご挨拶のあと、第一部 昭和24年松竹作品『晩春』のシナリオ（大嶺俊順氏のアレンジ）が朗読されました。

小津生誕100年の梅雨の晴れ間の日曜午後。監督が暮らし、今も眠る北鎌倉。ここ、北鎌倉女子学園の講堂に俳優、宗方勝巳さん（周吉）、女優、友里千賀子さん（紀子）の朗読により、横須賀線を走る青と白の電車が六郷橋を渡っていた頃に交わされていた、美しい日本語、そして、小津映画の世界がよみがえりました。其処に穏やかな感動を覚えた方も数多くいらしたのではなかったかと存じます。

山内氏、小津映画の撮影監督をされた川又昂氏と、なだいなだによる第二部鼎談では、北鎌倉を舞台に名作を世に送り出した小津監督の仕事に関するさまざまなエピソードやその人柄など小津映画と共に仕事をされた両氏の興味深く、豊富な話題に、会場にいらした皆様も楽しい時を過ごしていただけたのではなでしょうか。

【参加いただいた方の声（アンケートから）】

・このイベントを何によって知りましたか？

新聞(33) ポスター・チラシ(20) タウン誌(8) 基金からの連絡(10)

友人知人の紹介(30) インターネット(3)

・今後もこのような催しが必要ですか？

必要(93) 分からない(4)

・要望・意見など

\*タイトル文字誰が書いたのか素晴らしい。\*朗読がとてもよかった思わず涙がでた。\*若い人や一般の人に関心を持ってもらうには、トラスト

とか緑問題のみを取り上げるイベントより、芸術など他の分野を絡めたほうが良い。\*文人・芸術家グループとの連携を更に。

## 活動報告 2003年4月～

### ●「なだいなだと北鎌倉周辺をあるく」(定期開催)

毎月第三日曜日に北鎌倉～台峯～鎌倉中央公園を歩き、台峯の自然環境とその保全の意義を会員・市民の皆様幅広くご理解いただいています。毎回、40名前後の皆様にご参加いただいておりますが、2003年9月は、台風の影響により、なだ理事長を囲んで初めてのフリートークとなりました。



【写真】「なだいなだと北鎌倉周辺をあるく」

### ●台峯緑地の赤道・公道整備(定期実施)

台峯緑地(28.7ヘクタール)の殆んどは、(株)野村不動産と地元地権者の所有地ですが、当基金は、昨年1月、鎌倉市に私たちで行える範囲の赤

道整備をさせて欲しいとお願いし、昨年8月以来、台峯緑地の公道、いわゆる赤道の整備をほぼ毎月「なだいなだと北鎌倉周辺をあるく」開催前日の土曜日に行っています。作業は山歩きの案内をしていただいている鎌倉自主探鳥会久保さんの指導の下で台峯の環境を壊さぬよう注意を払いながら行っています。

毎回、10人程度で約2時間の作業を行っていますが、参加・協力いただける方は、どうぞ事務局までお問い合わせください。

### ●メーリングリスト開設(4月)

当基金主催のイベントの開催案内また台峯保全にかかわる情報を、Eメールにより、お知らせし当基金の活動および台峯をめぐる動きについて会員ならびに市民の皆様方により一層ご理解願えればと考え、メーリングリストを開設いたしました。

#### 【メーリングリストへのご登録方法】

当基金事務局 k.koba@kamakuranet.ne.jp に次の内容でEメールをご送信ください。

- 1) “件名(=Subject)”には「リスト登録」と入力してください
- 2) “本文”には「市民」「会員」のいずれかをご入力ください(「会員」の方は会員氏名をあわせてご入力ください)。当基金へのメッセージなどは有り難く存じますが、Eメールアドレス以外の連絡先(ご住所・電話番号)の入力は必要ございません。

### ●「NPOフェスティバル」に参加(5月10～11日)

鎌倉NPOセンター(大船)で開催された「NPOフェスティバル」に参加、パネル展示、機関誌の販売などを行いました。

●北鎌倉の景観を後世に伝える基金 通常総会 開催(5月25日)

当基金の第2期事業年度(2002/4/1~2003/3/31)通常総会を年5月25日、山ノ内公会堂において開催しました。理事・正会員17名(定数充足)が出席し、次の審議事項が承認されました。

(審議事項)

第1号議案 2003年3月31日現在貸借対照表、財産目録及び第2期事業年度(2002年4月1日から2003年3月31日まで)の収支計算書並びに事業報告承認の件

第2号議案 第3期事業年度(2003年4月1日から2004年3月31日まで)の事業計画書及び収支予算案承認の件

第3号議案 理事1名補充のための選任の件 理事会強化のため、理事1名(候補者 榎本 晶夫氏)を増員。

●「小津安二郎生誕100年記念トークイベント」を開催(6月29日)

北鎌倉女子学園講堂に於いて、北鎌倉・台峯トラスト特別講演「朗読&チャリティートーク」、「小津安二郎と美しい日本語、そして北鎌倉」を開催いたしました。当日お越しいただき会員の皆様には、誠に有り難うございました。

● 第4回台峯トラストの集い(11/24)

会員の皆様を対象に今年は11月24日(祝)午後1時より、北鎌倉円覚寺白雲庵において開催いたします。第一部の事業・会計報告に続く第二部では行政の担当者に参加いただき「みどり債」などについてお話しただく予定です。ぜひお越し願います。





# 会 計 報 告

14年4月1日から15年3月31日迄

(単位) 千円未満は四捨五入

北鎌倉の豊潤を後世に伝える基

科目	14年度予算	前期より増減	14/4-14/10月	予算残高	摘要	
収 入	入会金	10,000		15,000	-5,000	4月より正会員3名入会
	個人会費	800,000		745,500	54,500	本人440名家族164名合計604名
	団体会費	15,000		18,000	-3,000	今年度入会8件
	セミナー収入	700,000		902,000	-202,000	チャリティ切符売上金額
	機関誌収入	170,000		148,200	21,800	機関誌「北鎌倉の風」2号、3号、4号
	民間助成金	300,000		135,762	164,238	北鎌倉女子学園他、店舗募金箱
	寄付金	1,200,000		842,252	357,748	今年度入会51件
	街頭募金	60,000		73,737	-13,737	北鎌倉駅前にて5回 その他1回
	受取利息	5,000		6,871	-1,871	定期預金利息
	その他収入			12,950		絵葉書及び書籍販売利益寄付
	合計	3,260,000		2,900,272	359,728	
支 出	(緑地の保全・管理事業)					
	整備作業費	100,000		29,431	70,569	山の手入れ、剪定鉄、鋸鎌
	雑謝金	50,000			50,000	
	小計	150,000		29,431	120,569	
	(普及・研修・事業費)					
	通信費	150,000		146,255	3,745	会員宛会報その他送付4回
	印刷製本費	10,000		18,549	-8,549	会報2回及び山歩きピラ12回その他
	雑謝金	15,000		151,600	-136,600	チャリティ関係者謝礼
	委託費	300,000		210,000	90,000	チャリティ音響費
	旅費交通費	60,000		53,000	7,000	チャリティ出演者交通費
	事務消耗品費	50,000		14,422	35,578	チャリティ、山歩きピラ用紙
	損害保険料	8,800		8,800	0	山歩き傷害保険料
	賃借料	36,000		38,000	-2,000	山ノ内公会堂1年間使用料
	会議費			17,900	-17,900	チャリティ食事代
	雑費	14,000		21,379	-7,379	チャリティお花代他
小計	643,800		679,905	-36,105		
(広報・出版事業費)						
通信費	70,000		38,320	31,680	ホームページ回線使用料1年間	
印刷製本費	550,000		550,105	-105	機関誌4号発行費	
編集費	20,000		1,848	18,152	機関誌発行のためのフィルム代	
雑謝金			10,000	-10,000	ホームページ作成謝礼	
小計	640,000		600,273	49,727		
(交流・協力事業費)						
負担金	50,000		50,000	0	日本トラスト協会	
助成金支出			15,000		ボランティア助成	
研修費	15,000		5,000	10,000	日本トラスト協会	
雑費、その他	125,000		315	124,685	搬送料	
小計	190,000		70,315	134,685		
(管理費)						
旅費交通費	50,000		14,920	35,080	群馬県庁他	
通信費	60,000		72,225	-12,225	搬送料、会費納入依頼、会員証送付	
事務消耗品費	64,000		26,767	37,233	コピー代、用紙代	
賃借料	36,000		36,000	0	山ノ内公会堂1年間	
交際費			5,000		香典	
雑費	20,000		27,858	-7,858	登記料他	
その他	50,000			50,000		
小計	280,000		162,770	102,230		
合計	1,903,800		1,562,694	341,106		

科目	14年度予算	前期より増減	14/4-15/3月	予算残高	摘要
採 買 費	現金		0	0	
	当座預金		387,278	498,849	郵貯
	普通預金		520,224	655,231	東三B ¥624,118、郵貯 ¥31,113
	定期預金		10,228,187	11,308,187	東三B ¥1,698,177、郵貯 ¥9,610,010
合計		11,135,689	12,462,267		

注記：繰積立金 ¥11,308,187  
正味財産 ¥12,462,267

15年度イベント(6月29日)収支決算

(小津安二郎と美しい日本語、そして北鎌倉)

収入	¥787,531	チケット販売、その他
支出	¥575,759	ポスター及び会員及び申込者郵送その他
収益	¥211,772	

## 松嶺院の墓地にて

理事 和泉 あき

以前「基金」の機関紙や会報に書かせて頂いた、亀ヶ谷切通の香風園、高見順旧邸と圓荘は、あれから何年も経たないのに現在は跡かたもなくなってしまい、「お前がとりあげると消えてしまう」などと冷やかされています。それぞれ個別の事情で、傍らからかれこれ口を挟むことはできませんが、一般論としていえばやはりミニ開発の進行過程を示しているわけで、寂しい思いがいたします。まさか、お寺ならそんな心配もあるまいと、今回は円覚寺塔頭の松嶺院を訪れることにします。

といっても、ここは有名な場所で多くの方がご存知のことばかりでしょうけれど。円覚寺本山の墓地には過日、多くの団体のご協力を得て「基金」が“生誕百年記念”の催しをもった小津安二郎監督のお墓があることは申しますまでもありません。松嶺院は今、牡丹を初め沢山の花木が墓地に続く道を彩っていますが、ここにも松竹映画関係の田中絹代、佐田啓二らのお墓があります。文献によれば、ここは円覚寺第一五〇世叔悦禅憚の塔所で、のちに東慶寺瑞山尼の姪にあたる松嶺院妙円尼が寺領を寄進、名をあらためたのだそうです。「オウム犯罪」の犠牲になられた坂本弁護士ご一家のお墓に、今も供花が絶えないのは当然といえましょう。

墓地の入り口に入ってすぐの所に、大きな楕円形の自然石に名のみ刻んだ開高健の墓があります。開高はいくつもの顔をもった作家でした。寿屋宣伝部の名コピーライター、名編集者、世界を股にかけた釣マニア、美食家、でも彼は自らの原点である大阪大空襲の悲惨と戦後の無秩序からついに離れることはありませんでした。一九六〇年代後半、激化するベトナム戦争に反対して、「ベトナム屋、平和屋」などと心ないいわれかたもしましたが、自ら特派員として志願した最前線の体験を経て、いわゆる「闇三部作」を書きます。底知れぬ空虚と頹廃と絶望に表現を与えた「夏の闇」を読んだときのこちらの心の闇まで今も思い出されます。

開高は六十才をまたず逝ってしまいました。彼が仕事場にしていた茅ヶ崎の家は今ささやかな記念館になっているようです。あろうことか、彼の学生時代に生れた一人娘も若くして不慮の事故で亡くなり、先年夫人の牧羊子もまた亡くなり、今はここに葬られています。松嶺院の墓地は中の樹木などないのでとても明るいのです。ここを訪れる毎にこの静かな明るさと、葬られた人の心の闇を対比せずにはられません。二十一世紀に入っても世界から戦争はなくなりません。アフガンやイラクの現状をみていると、いっそうそうした思いを新たにします。



## 【談話室】

### 「うてな」の杜はハテナ(?)の「もり」

理事(広報担当) 榎本 晶夫



【写真】 台下から眺めた高野台

台峯緑地の向かい側、六国見山の麓、高野台に残されていた「台緑地」が開発されて、其処に新しい街が出来ようとしている。一昨年8月の「なだいなだと北鎌倉周辺をあるく」に初めて参加した時、其処には鎌倉石の石切場の遺跡が出現し、文化財調査のため工事は一時ストップしていた。比較的大きな規模の遺跡が現れた以上「そう簡単には進められないな」という私の勝手な想像とは無関係に、その調査は間もなく終わり、その後、工事は早いテンポで進められた。「北鎌倉台の杜」と名付けられその宅地の販売が開始されたのは今年の5月、新聞の折込広告で知った。実はその時も気に入らなかったのだが、先日まで、今度は建売部分の10月からの分譲開始を案内する大きなポスターが北鎌倉駅に貼られていた。断るまでもないことだが、その宣伝をするつもりではない。また、営業を妨害するつもりなどないが、開発行為もさる事ながらチラシやポスターのキャッ

チコピーが気に入らない。なんとも心持が悪いのである。

曰く、「北鎌倉 台（うてな）の杜（もり）」。

私は北鎌倉と大船のほぼ中間地点に住んでいるが、近頃の高校生あたりがよく使う言葉を借りれば、私の住まいは「北鎌倉です」と言うには“ビミョー”な位置にある。近頃、その住まいの近くに建てられたマンションや福祉施設の名前のほとんどは「北鎌倉」の前後にカタカナがついている。

「北鎌倉」ブランドは、売りやすく、売れるのであろう。営業活動の一環である以上、売らなければならないから、「北鎌倉」をつけるのであろう。それは分かる。はたして、高野台が「大船」か「北鎌倉」なのか、ビミョーだと個人的には思うが、どうぞご存分にといいことで「北鎌倉」は構わない。しかし、「台（うてな）の杜」は何とも心持が良くない。其処は「台（だい）」という地名である。断じて「台（うてな）」ではないのである。

六国見の麓に「小坂小学校」がある。先回もご登場いただいた「子ども風土記」でお世話になった A さんは、絶対にオサカ小学校とは言わない。取材の時に「でも、今はバスのアナウンスもオサカですよ」と話した所、「俺が行ったのはコサカだ」とのご返事であった。今はどうであれ、A さんの通った小学校は「オサカ小学校」ではない。また以前、仕事の関係であるセミナーに参加した時、その講師を務められていた在日の大学教授の方が、名前を勝手に異なった音で日本語読みされることがこの上なく不愉快であるといった話をされていた。私の住まいも「台（だい）」である。この土地に暮らして、さほど永くはないが、親しみを覚える土地の名に、勝手に訳のわからないルビをふられることに、私もこの上のない、不快感を覚えた次第である。これもまた、宣伝するつもりではないが、確か「ウテナ」という化粧品屋さんがあったが、鎌倉にある化粧品屋さんの工場は、「資生堂」である。鎌倉に「うてな」は存在しないはずだ。台緑地の山を崩し、森の木々を倒し、命を追い払い、わざわざ作られた杜の在る新しい街、その街の名が「北鎌倉 台（うてな）の杜（もり）」とは、まったく、ハテナ（？）である。くれぐれも、台峯緑地が埋められて「台（うてな）の峯（やま）」などと云った、宣伝文句で売りに出されることのないよう願うばかりである。

## ■ 第5回トラスの集い ご案内

2003年11月24日(祝)「トラスの集い(第5回)」を北鎌倉 円覚寺 白雲庵  
において午後1時より計画しております。



【写真】第4回トラスの集い 2003年12月 円覚寺書院

### 【プログラム(概要)】13:00～

#### ■ 第1部 ■

事業報告

会計報告

質疑応答

(休憩)

#### ■ 第2部 ■

「鎌倉みどり債」などについて

\* 行政担当者の参加を予定しています

(終了予定 15:30)

## ■ メンバー構成 (2003年10月現在)

- 理事長 なだいなだ 副理事長 石黒ひで
- 理事 新模幸子 和泉あき 榎本晶夫 小田原茂夫 小林京子  
斎藤博子 榎原一郎 野口稔 望月晶夫 望月真樹  
森泉定男
- 監事 吉野功 林雄一郎
- 正会員 石原瑞穂 市川節子 岩瀬豊治 上田雄一郎 塩原純子  
中村光夫 長島豊 平尾光司 渡辺利勝



## 伝 言 板

### 機関誌『北鎌倉の風』のご案内

第4号 特集 「命育む台峯にあそび、まなぶ」—主な内容

・北鎌倉の緑を次世代に	東慶寺 閑栖	井上 禅定
・台峯四季巡り	ナチュラリスト	久保 廣晃
・当たり前なのが、なぜかおもしろい	ナチュラリスト	久保 廣晃
・「台峯(だいみね)子ども風土記」	正会員(編集)	榎本 晶夫
・故郷(ふるさと)の山懐かしく	北鎌倉女子学園	宮澤 文恵
・谷戸は総合的な学びの場 山崎の谷戸を愛する会代表		相川 明子
・台峯を“学びのテーマパーク”に！	正会員	中村 光夫
・願わくば総合学習の副教材に(編集後記) 広報担当理事		野口 稔

○バックナンバー(2号・3号)もぜひご覧ください。各500円でお分けしています

### 【定例行事】「なだ いなだと北鎌倉周辺をあるく」

毎月、第3日曜日午前9時に北鎌倉・東慶寺手前の山ノ内公会堂に集合、簡単なコースの説明の後、主に台峯から鎌倉中央公園まで、鎌倉自主探鳥会メンバーの案内で歩いています(解散は正午頃、雨の日はフリートーク)。

### □ 新規会員募集中！ □ 一般年会費 2000 円

詳細は事務局までお問い合わせください。

発行日 2003年10月1日

発行者 NPO 法人 北鎌倉の景観を後世に伝える基金

事務局 〒247-0062 鎌倉市山ノ内 1045 TEL/FAX 0467-22-7993

ホームページ URL <http://www.kitakamakura-trust.org/>